



**扶桑町の
小学校・中学校も
平成17年度から
二学期制になります**

扶桑町教育委員会
扶桑町二学期制検討委員会

二学期制は仙台市 横浜市 京都市など多くの市町村ですでに行われ、学校生活に「ゆとり」を生み出すために二学期制は有効な手立てとして全国的な流れとなってきました。

愛知県でも平成 16 年度からお隣の犬山市や豊田市など4市で実施が決まっています。扶桑町は平成 17 年度に予定をしていますが、そのころにはもっと多くの市町村で実施されると予想されます。

そこで、まず二学期制についてご理解をいただき、その上で、保護者の皆様や、学校の先生の意見を集約し、扶桑町の二学期制をより良いものとしていきたいと考えております。

学期や休みはどうなるのですか？

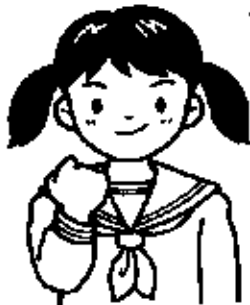
- ① 10月第2月曜日（体育の日）までを前期とします。
- ② 前期終業式は10月体育の日の前の週の金曜日、後期始業式は体育の日の週の木曜日に行います。
（4月の入学式・始業式、3月の卒業式・修了式は今までと同じです。）
- ③ 秋休みは体育の日を挟んで5日間とします。
- ④ 冬休みを12月26日から1月6日までとします。
（春休み・夏休みは変わりません）



前 期					後 期			
4月	7/21 ~8/31	10月 体育の日の 前の週の金	土 日	体育 の日	火 水	10月 体育の日の 週の木	12/26 ~1/6	3月
入学式 始業式	夏休み	前期 終業式	秋休み 体育の日を中心に5日間			後期 始業式	冬休み	修了式 卒業式

上記のような案を考えていますが今後保護者の皆様から意見をいただき、手直しをしていきます。

なぜ二学期制を はじめるの？



学校週5日制になって授業時間数が減ったね。
でも「ゆとり」をもって基礎基本を確実に身につけたり、発展的な問題に取り組んだり、総合的な学習で生きる力を身につけたりするためにはもう少し時間があつたほうがいいだね。

二学期制にすることで式の回数が減ることや、これを機会に教育課程や行事の持ち方を工夫することによって、これまでよりも「余裕をもって子どもたちと先生がふれあうことができる時間」を生み出すんだよ。

学校週5日制になってから、3学期の成績は本当に少ない授業で出さなくてはならなくなつたんだ。信頼できる評価ができていいのか心配だね。

それに学校週5日制に伴い、授業時数の削減＝学力の低下という不安を持つ人も出てきたね。先生たちにも、子どもたちとのふれあいの時間を多くして「ゆとり」を持った教育をしたいという希望があるんだ。

二学期制によるメリットは ほかにもあるの？



- ① 夏休み、冬休みは、それぞれ前期・後期の中に含まれることになるから、今までのように「休み」という感覚ではなく「それまでの学習を補う期間」「総合的な学習に取り組む時間」として位置付け、目的をもって生活することになるんだ。
- ② 長い学期を生かして、じっくりと学習に取り組むことができますね。長い期間で学習の様子を見る事ができるから、通知表も今よりもっと充実したものになるよ。



- ③ 中学校では7月は管内大会の指導、12月は進路指導の大切な時期だね。今までは、通知表をつける時期と重なっていましたが、二学期制にするとそれが解消できるから、じっくりと指導してもらえるようになります。
- ④ そのほか、小さなことですが、上巻・下巻で編集されている教科書もありますから、新学期は新しい教科書でスタートできます。それに、今でも前期・後期の二期制で行われている児童会・生徒会・通学班の役員の任期ともびつたりします。学期初めには、児童会や生徒会・通学班活動と学級の係りや組織を同時に決めて新学期がスタートできますね。

次のような二学期制による デメリットへの対応策は どうするのですか？



- ① 通知表が年2回しかないので、保護者にとっては子どもたちの学習について知る機会が減ってしまうので心配です。

今の通知表をやめ、より具体的に子どもたちの様子がわかるものに変更します。また、それ以外にも学期途中（たとえば単元終了ごと）に成績個人票など子どもたちの学習の成果がわかるようなものをお届けいたします。

また、保護者懇談会を夏休み中に持つなどじっくりと子どものことについて話し合う時間の確保に努めます。

裏面へ続きます



「学期や休み」の取り方について、ご意見・ご要望・心配なことなどあれば下記にご記入いただき12月22日終業式までに学校へお出しください。

.....キ.....リ.....ト.....リ.....

学校

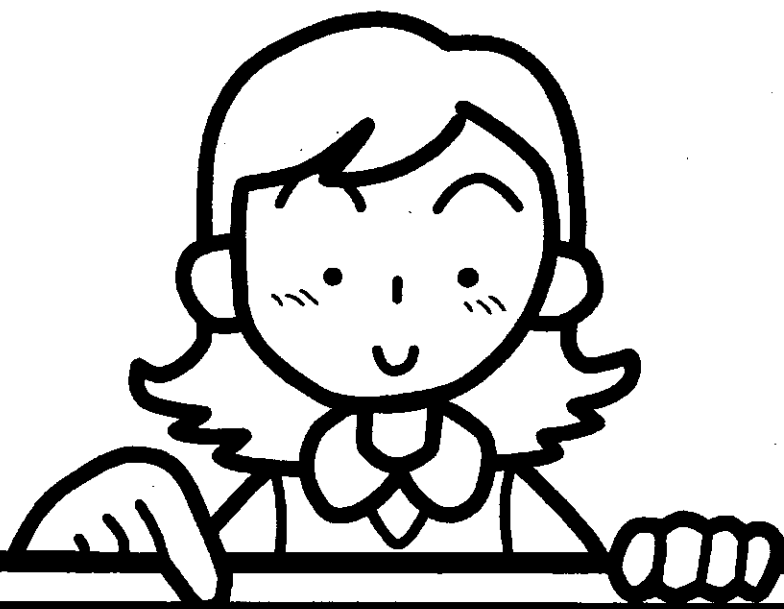
年生保護者

- ② 通知表や、学期途中の成績個人票作成のために、先生たちはますます忙しくなって、かえって「ゆとり」がなくなるのではないですか。
扶桑町の学校は、職員室もIT化が進んでいます。コンピュータをフルに活用して、成績処理事務、通知表作成事務の能率化をはかります。



- ③ 前期と後期の区切りがはっきりせずメリハリがつかないのではないですか。
気分のリフレッシュ期間として前期と後期の間に5日ほどの休業日を考えています。ゴールデンウィークやお盆のような混雑時ではないのでゆっくりと家族での行楽の計画もできます。また、この間に学校では、新学期の準備ができます。
- ④ 転校のとき困りませんか。
今のカリキュラムは大幅に変える必要はありませんから、扶桑町外へ転校しても授業の進度が違うことで困るということはおきません。
- ⑤ 高校進学調査書（内申書）の成績はどうなるのですか。
今まで2学期の成績が記入されていた調査書については前期の成績を記入します。中学校3年生になったら前期の初めからそのことを意識して学習に取り組んでいただくことになります。
- ⑥ 中学校では、定期テストはどうなりますか。子どもたちの気がゆるむことはありませんか。また、高校進学を控え、子どものことを知るデータを得る機会が減るが……。
前期・後期の中間テスト・期末テストの4回になります。現在でも、扶桑北中学校では中間テストを行っていませんが生徒の気がゆるんでいるということはありません。定期テストのほかに日常のテストも重視し、そのデータをお知らせします。コンピュータ処理により点数のみでなく、さまざまな角度からのデータとしてお知らせすることも可能です。





**扶桑町の
小学校・中学校も
平成17年度から
二学期制になります**

扶桑町教育委員会
扶桑町二学期制検討委員会

二学期制は仙台市 横浜市 京都市など多くの市町村ですで行われ、学校生活に「ゆとり」を生み出すために二学期制は有効な手立てとして全国的な流れとなってきました。

愛知県でも平成 16 年度からお隣の犬山市や豊田市など4市で実施が決まっています。扶桑町は平成 17 年度に予定をしていますが、そのころにはもっと多くの市町村で実施されると予想されます。

そこで、まず二学期制についてご理解をいただき、その上で、保護者の皆様や、学校の先生の見解を集約し、扶桑町の二学期制をより良いものとしていきたいと考えております。

学期や休みはどうなるのですか？

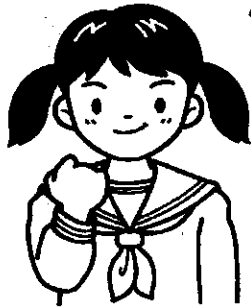
- ① 10月第2月曜日（体育の日）までを前期とします。
- ② 前期終業式は10月体育の日の前の週の金曜日、後期始業式は体育の日の週の木曜日に行います。
（4月の入学式・始業式、3月の卒業式・修了式は今までと同じです。）
- ③ 秋休みは体育の日を挟んで5日間とします。
- ④ 冬休みを12月26日から1月6日までとします。
（春休み・夏休みは変わりません）



前 期				後 期						
4月	7/21 ~8/31	10月 体育の日の 前の週の金	土	日	体育 の日	火	水	10月 体育の日の 週の木	12/26 ~1/6	3月
入学式 始業式	夏休み	前期 終業式	秋休み 体育の日を中心に5日間				後期 始業式	冬休み	修了式 卒業式	

上記のような案を考えていますが今後保護者の皆様から意見をいただき、手直しをしていきます。

なぜ二学期制を はじめるの？



学校週5日制になって授業時間数が減ったね。

でも「ゆとり」をもって基礎基本を確実に身につけたり、発展的な問題に取り組んだり、総合的な学習で生きる力を身につけたりするためにはもう少し時間があつたほうがいいのだね。

二学期制にすることで式の回数が減ることや、これを機会に教育課程や行事の持ち方を工夫することによって、これまでよりも「余裕をもって子どもたちと先生がふれあうことができる時間」を生み出すんだよ。

学校週5日制になってから、3学期の成績は本当に少ない授業で出さなくてはならなくなつたんだ。信頼できる評価ができていいのか心配だね。

それに学校週5日制に伴い、授業時数の削減＝学力の低下という不安を持つ人も出てきたね。先生たちにも、子どもたちとのふれあいの時間を多くして「ゆとり」を持った教育をしたいという希望があるんだ。

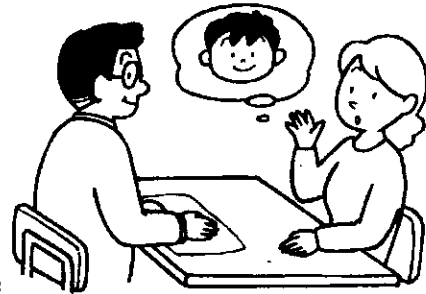
二学期制によるメリットは ほかにもあるの？



- ① 夏休み、冬休みは、それぞれ前期・後期の中に含まれることになるから、今までのように「休み」という感覚ではなく「それまでの学習を補う期間」「総合的な学習に取り組む時間」として位置付け、目的をもって生活することになるんだ。
- ② 長い学期を生かして、じっくりと学習に取り組むことができますね。長い期間で学習の様子を見る事ができるから、通知表も今よりもっと充実したものになるよ。

- ③ 中学校では7月は管内大会の指導、12月は進路指導の大切な時期だね。今までは、通知表をつける時期と重なっていましたが、二学期制にするとそれが解消できるから、じっくりと指導してもらえます。
- ④ そのほか、小さなことですが、上巻・下巻で編集されている教科書もありますから、新学期は新しい教科書でスタートできます。それに、今でも前期・後期の二期制で行われている児童会・生徒会・通学班の役員の任期ともびつたりします。学期初めには、児童会や生徒会・通学班活動と学級の係りや組織を同時に決めて新学期がスタートできますね。

次のような二学期制による デメリットへの対応策は どうするのですか？



- ① 通知表が年2回しかないので、保護者にとっては子どもたちの学習について知る機会が減ってしまうので心配です。

今の通知表をやめ、より具体的に子どもたちの様子がわかるものに変更します。また、それ以外にも学期途中（たとえば単元終了ごと）に成績個人票など子どもたちの学習の成果がわかるようなものをお届けいたします。

また、保護者懇談会を夏休み中に持つなどじっくりと子どものことについて話し合う時間の確保に努めます。

裏面へ続きます



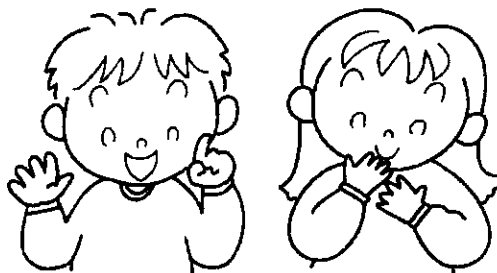
「学期や休み」の取り方について、ご意見・ご要望・心配なことなどあれば下にご記入いただき12月22日終業式までに学校へお出しください。

.....キ.....リ.....ト.....リ.....

学校

年生保護者

- ② 通知表や、学期途中の成績個人票作成のために、先生たちはますます忙しくなって、かえって「ゆとり」がなくなるのではないですか。
扶桑町の学校は、職員室もIT化が進んでいます。コンピュータをフルに活用して、成績処理事務、通知表作成事務の能率化をはかります。



- ③ 前期と後期の区切りがはっきりせずメリハリがつかないのではないですか。
気分のリフレッシュ期間として前期と後期の間に5日ほどの休業日を考えています。ゴールデンウィークやお盆のような混雑時ではないのでゆっくりと家族での行楽の計画もできます。また、この間に学校では、新学期の準備ができます。
- ④ 転校のとき困りませんか。
今のカリキュラムは大幅に変える必要はありませんから、扶桑町外へ転校しても授業の進度が違うことで困るということはおきません。
- ⑤ 高校進学調査書（内申書）の成績はどうなるのですか。
今まで2学期の成績が記入されていた調査書については前期の成績を記入します。中学校3年生になったら前期の初めからそのことを意識して学習に取り組んでいただくことになります。
- ⑥ 中学校では、定期テストはどうなりますか。子どもたちの気がゆるむことはありませんか。また、高校進学を控え、子どものことを知るデータを得る機会が減るが……。
前期・後期の中間テスト・期末テストの4回になります。現在でも、扶桑北中学校では中間テストを行っていませんが生徒の気がゆるんでいるということはありません。定期テストのほかに日常のテストも重視し、そのデータをお知らせします。コンピュータ処理により点数のみでなく、さまざまな角度からのデータとしてお知らせすることも可能です。

